

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

日東電工株式会社（証券コード:6988）

【据置】

長期発行体格付	AA
格付の見通し	安定的

■格付事由

- (1) 粘着、塗工、高分子機能制御などの技術を強みとする各種材料メーカー。オプトロニクス（液晶用表示関連材料など）やインダストリアルテープ（自動車やエレクトロニクス向けなど）を主力とするほか、核酸医薬の受託製造などのライフサイエンスも手掛ける。比較的小さな市場で高いシェアを狙う「グローバルニッチトップ」戦略とともに、近年は世界の各エリアでシェア拡大を図る「エリアニッチトップ」戦略を推進。19年度の量産開始を目指して、先般、プラスチック光ケーブル事業への参入を発表した。
- (2) 業績は好調に推移している。インダストリアルテープは用途・需要先の分散効果を背景に、安定した利益を確保している。オプトロニクスはスマートフォン需要などの影響を受けやすいが、採用が拡大している有機 EL 向けの販売も増やすことができている。同事業の需要変動は大きいものの、製品競争力や技術革新への対応力は高く、今後も業界内での高いプレゼンスを維持できよう。また、財務内容も引き続き良好な状態を維持できると考えられる。以上を踏まえて、格付を据え置き、見通しを安定的とした。
- (3) 18/3 期営業利益（IFRS）は 1,350 億円（前期比 45.8%増）と大幅な増益を見込む。液晶用ディスプレイ向けフィルムの販売増や有機 EL 向け材料の採用増加などが利益を押し上げる予想。足元ではスマートフォンの一部製品での生産調整や円高進行など事業環境に変化が見られ、19/3 期はこれらがマイナス要因になる可能性がある。ただ、主力製品の高い競争力などを背景に、手堅く利益を確保できると想定している。なお、ライフサイエンスで一部顧客の受託案件が中止となったが、全社業績への影響は限定的と JCR は考えている。
- (4) 18/3 期第 3 四半期末の親会社所有者帰属持分比率は 74.4%、DER は 0.01 倍など良好な水準にある。また、手元資金は潤沢であり、実質無借金の状態を維持している。中期経営計画（18/3 期～20/3 期）では投資額 4,000 億円（設備投資 2,100 億円、M&A1,200 億円など）を計画している。高いキャッシュフロー創出力などを踏まえれば、財務面に大きな影響は生じないと JCR では考えている。財務基盤はすでに充実しているが、さらなる強化が進む方向にあると見ている。

（担当）藤田 剛志・川越 広志

■格付対象

発行体：日東電工株式会社

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	AA	安定的

格付提供方針に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2018年3月20日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：湊岡 由典
主任格付アナリスト：藤田 剛志
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014年11月7日)、「化学」(2012年3月26日)として掲載している。
5. 格付関係者：
(発行体・債務者等) 日東電工株式会社
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル